

○ ファクトシート

リスク評価のほかにも、危害要因についての科学的な情報を収集し、分かりやすく整理したものを「ファクトシート」(科学的知見に基づく概要書)として公表しています。これらのファクトシートは、掲載時における国際的なリスク評価結果や研究成果などを整理して作成されたものです。

これまでに「加工食品中のアクリルアミド」、「牛の成長促進を目的として使用されているホルモン剤(肥育ホルモン剤)」、「臭素酸カリウム」、「トランス脂肪酸」、「ビタミンAの過剰摂取による影響」、「Q 熱」、「妊婦のアルコール飲料の摂取による胎児への影響」について作成し、随時更新を行っています。平成21年度には「食品中のクロロプロパノール類」を作成しました。

引き続き、国内外の関係機関等から、新たな科学的知見の情報収集を行い、わかりやすく整理した上で、国民の皆様へ情報を提供いたします。

2. リスクコミュニケーションに関する取組

食品安全委員会は、リスク評価の内容など食品の安全性に関するリスクコミュニケーションを実施し、消費者を含む関係者との間で情報の共有や意見交換を行っています。

○ リスク評価結果案等についての意見交換会

食品安全委員会が実施したリスク評価の結果案については、パブリックコメントを求めるとともに、国民の関心の高いものや評価の考え方の説明が必要なものは、消費者や事業者などの方々との意見交換会を開催しています。21年度は「食中毒原因微生物のカンピロバクター」と「BSE 非発生国からの輸入牛肉等」のリスク評価結果案について、意見交換会を開催しました。

このほか、リスク評価の基礎となる科学的な考え方などをテーマとしたサイエンスカフェ形式の意見交換会や、リスク評価に関する国際的な動きや最新の知見についての海外の専門家によるセミナーを実施しています。

食品安全委員会の行う意見交換会の実績

意見交換会等を386回(共催を含む。平成22年3月末現在)開催しました。

このうち、食品安全委員会が、これまで企画・主催した意見交換会等の主なテーマは以下のとおりです。

- ・ 我が国のBSE対策
- ・ 魚介類等に含まれるメチル水銀
- ・ 遺伝子組換え食品
- ・ 食品からのカドミウム摂取
- ・ 食中毒原因微生物
- ・ 大豆イソフラボンを含む特定保健用食品
- ・ 体細胞クローン家畜由来食品
- ・ BSEが発生していない国を対象とした輸入牛肉・牛内蔵



サイエンスカフェの様子